

可能性あふれるまち「成田」の 実現に向け新たな挑戦



三が日で参詣客が300万人を超える成田山新勝寺



成田市長
小泉一成

あけまして
おめでとーうございます

市民の皆様には、平成27年の新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

はじめに、昨年末の市長選挙において三たび市政を担わせていただくことになり、心新たに可能性あふれる「成田」のまちづくり、全力で取り組んでいく覚悟であります。

また昨年は市制施行60周年の節目を迎え、市民の皆さんには各種記念事業にご支援・ご参加をいただき誠にありがとうございました。さて、ことしは未(羊)年です。

羊の字の入った食べ物に、成田の名菓でもある「羊羹」があります。「羹」という字は肉や野菜を入れた熱い吸い物という意味があり、中国では羊の肉を煮たスープを羊羹と言ったそうです。日本には鎌倉時代から室町時代に遣唐使によってこれが伝えられました。当時日本では仏教伝来以後肉を食べない習慣があり、羊肉の代わりに小豆を用いた精進料理が、日本の羊羹の原型とされているようです。

また羊飼いの物語として、南フランスを舞台にした「木を植えた人」があります。羊飼いは荒れ果てた山を見かねて、毎日ドングリの実を何十年も植え続けますが、木々の成長があまりにゆっくりだったため、周囲の人たちはこれに気が付きません。やがて木々は青々と生い茂り、水が湧き、川が流れ、人が住むようになりました。これは一つの目的に向かって地道に努力すれば、さまざまな成果が得られるという教訓でもあり、わたしも羊飼いのごとく日々努力を重ね、市政運営に取り組んでまいります。

魅力あるまちづくり

昨年11月、国会で「まち・ひと・

し「創生法」が可決され、少子高齢化への対応、人口減少の歯止め、東京圏への一極集中を是正するなど、地域ごとに住みよい環境を確保し活力ある日本を維持していくこととなりました。

この背景には、日本創成会議・人口減少問題検討分科会が発表した推計データが大きく起因しています。このデータでは今後も地方から大都市への人口流出が続くと、

出産件数の95パーセントを占める20～39歳の女性が今後30年間で50パーセント以上減少する市町村は、全自治体の約5割(896自治体)にも達し、将来的には消滅してしまふ可能性が高いとされています。

また日本の総人口は、平成20年をピークに減少に転じており、このまま手を打たなければ、平成72

年には約8、700万人まで減少すると予測されています。

今後、確実に人口減少が進む中、医療や交通、教育などのサービスの維持、道路・上下水道・公民館などのインフラの維持管理など、将来を見据えた行政運営が求められます。

人口減少は将来の問題ではなく、今まさに取り組まなければならない課題であり、そのためには子どもを産み育てやすい環境を、国・自治体・企業などが一体となつてつくり上げることが必要です。

本市は、保育園や児童ホームの整備などを進めており、平成27年度開始予定の「子ども・子育て支援新制度」に先行し、民間が行う小規模保育施設などへ補助を行うなど、待機児童の解消をはじめ、子育てしやすい環境の整備に取り組んでいます。さらなる充実を図ってまいります。

また、人を呼び込み人口流出を止めるには、若者に魅力あるまちづくりも不可欠です。本市では大学の開学により約1、400人の学生が集うまちが生まれます。開学後は大学側との連携協定により、さまざまな交流、文化活動などの展開も図り、活気ある新たなまちづくりを進めてまいります。

成田空港の機能強化

平成32年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、国

では国内外からの受け入れ体制の向上を目指し、成田・羽田両空港の機能強化の具体化に向けた協議会を発足させました。そして、成田空港の航空機発着回数の強化策として、管制機能の高度化により、悪天候時の同時離着陸を可能にし、滑走路に高速離脱誘導路を追加整備することで到着機を滑走路からスムーズに離脱させ、年間発着回数30万回の早期実現を図るとしています。

また、本年4月には格安航空会社(LCC)専用ターミナルの供用開始が予定されており、これらの機能強化は、さらなる雇用の拡大や地域経済の活性化などの効果をもたらすことが期待されます。

その一方で、航空機の増便は騒音の増加や落下物などの懸念があることから、騒音地域に住む方々の理解が得られるよう、今以上の努力を国に働きかけていくとともに、騒音対策・地域共生策に十分に配慮してまいります。

また、千葉県の人口10万人当たりの医師数は164人で、全国の中では下から3番目という低さであり、1位の京都府286人とは

平成28年4月の開学を目指し進められています。すでに地方においては少子化と同時に高齢化が進行しており、今後さらに高齢者を支える医療・介護従事者のニーズが高まってきました。そうした中、同大学の開学は医療従事者不足の解消をはじめ、地域への社会的効果・経済的効果が大きい期待できるところであります。

本市は、国に「国際医療学園都市構想」と「エアポート都市構想」の2つの構想を提案し、昨年5月、アベノミクス第3の矢「成長戦略」の柱である国家戦略特別区域に指定されました。全国で6カ所のみ地域指定の中で、本市が東京圏の一部として選ばれたことは誠に光栄なことであります。

東京圏では、昨年10月に特区担当大臣、東京都知事、神奈川県知事、成田市長、民間事業者で構成される区域会議が組織され、区域計画の策定を進めています。本市の提案が認められた場合には、成田市全域のみならず空港周辺、ひいては日本全体に活力をもたらすものと考えています。

また、千葉県の人口10万人当たりの医師数は164人で、全国の中で下から3番目という低さであり、1位の京都府286人とは



国際医療福祉大学の完成予想図

1・7倍の差があります。今後、特区により、本市での医学部の新設が認められた場合には、地域医療への貢献や経済的効果など、県全体への波及効果も大いに期待でき、さらに産学官の連携により、国際都市にふさわしいまちづくりに寄与できるものと考えています。

「日本の元氣は成田から」の意気込みで、国家戦略特区構想の実現に官民一体となり精神的に取り組んでまいります。

結びに、次世代に誇れる『住んでよし、働いてよし、訪れてよし』の空の港まちづくりになお一層取り組んでまいりますので、市民の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



成田国際空港株式会社提供

LCC専用ターミナルの外観イメージ

国家戦略特区構想の実現

国際医療福祉大学の建設工事が、